

自動運転車で津波避難

東日本大震災の津波で被災し、居住禁止になった仙台市若林区荒浜地区で3月27日、車の自動運転の実証実験が行われる。津波避難の交通手段に活用できるかどうかを探るうと、仙台市が企画した。

実験は、ベンチャー企業のロボットタクシー（東京）と東北大未来科学技術共同研究センターがそれぞれ学技術共同研究センターがそれぞれ実施する。

仙台・荒浜で 来月実証実験

人を乗せ、完全自動走行を試みる。東北大未来科学技術共同研究センターは、群馬大と共に試験に取り組む。荒浜地区の市道で、有人の1人乗り小型電気自動車（EV）を先頭に複数台の無人車両を自動追隨させる。

車の自動運転については、政府が昨年6月に閣議決定した日本再興戦略で実証の推進を掲げた。仙台市など国家战略特区（地方創生特区）の指定地域で進める方針を示している。

浜小校庭を活用。衛星利用測位システム（GPS）やカメラ、レーダーなどを搭載した乗用車の後部座席にのみ